

取扱説明書番号
8RZ133MD-1

室内用

電波時計 取扱説明書 (デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間で標準に保有しています。
修理に際して、現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。修理の内容や送料により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005** (フリーダイヤル)

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ〇〇〇」をお伝えください。
(Y1609)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
必ず守ってください。

図記号の説明

- ⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
- Ⓜは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

Ⓜ 誤飲を防止するため、小さな部品
や電池は、幼児の手の届く所に置
かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに
医師の治療を受けてください。

⊘ 電池からの液漏れや発熱、破裂を
防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

⊘ 電池の液漏れが起きたときは、素
手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

Ⓜ 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けが
や故障の原因になります。

⊘ 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高
湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

⊘ ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

⊘ 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。
分解禁止

⊘ 下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣
化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

●付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

⚠ 注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。
電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

GUARANTEE
保証書

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 〇氏名 様

ご住所

TEL() -

※販売店印(所在地、店舗名、電話番号)

※印は販売店記入

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料で修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料での修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
8. 電池の交換。
※送料・出張料は、実費をいただきます。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な日時に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

電池・製品の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと
液晶表示可読温度	0～40℃
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒 温度が5～35℃のとき
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 1.5V 2個
電池寿命	約1年 アラームを30秒/日鳴らしたとき
標準電波受信局	標準電波を受信して日時を修正 福島局/九州局自動選択
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時～4時、13時～16時 各時間帯の16分40秒に開始
受信ON/OFF	あり ボタン操作にて切替可能
アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	4段階電子音 鳴り方が変化
スヌーズ	アラーム音5分間一時停止
オートストップ	アラーム音2分間で自動停止
音量調節	なし
カレンダー	2011～2099年対応
温度表示	-9.9～50℃
温度精度	±2℃
湿度表示	20～95%RH *相対湿度表示
湿度精度	±10%RH
防塵防滴	なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。0～40℃になれば正常に表示されます。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※アルカリ乾電池を使用することができますが、他の種類と混ぜて使わないでください。

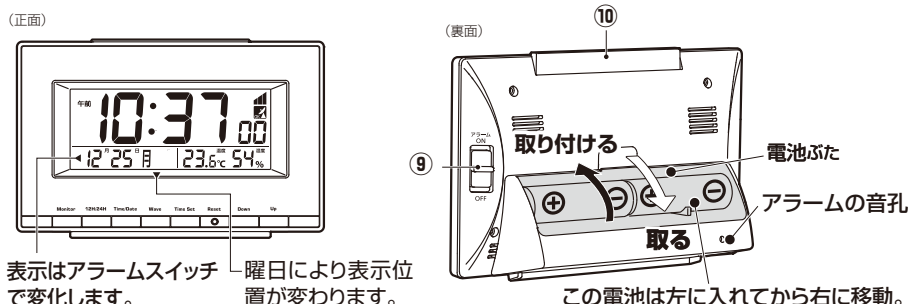
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 お試用電池 2個、取扱説明書・保証書 本書

各部の名称と役割

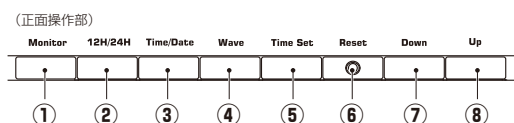
※図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

◎時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。



表示はアラームスイッチ
が変化します。
曜日により表示位
置が変わります。
ON : アラーム時刻
OFF : 月日または時刻

ご注意
転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。



- 1 **Monitor**(モニター) —— アラーム音を試聴したいときに押します。
- 2 **12H/24H** —— 午前/午後表示付12時間表示と24時間表示を切り替えます。
- 3 **Time/Date**(時刻/日付) —— 時刻と日付の表示位置を切り替えます。
- 4 **Wave**(強制受信) —— すぐに受信を開始させたいときに押します。
- 5 **Time Set**(時刻合わせ) —— 日時を手動で合わせるときに使います。
- 6 **Reset**(リセット) —— 電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
- 7 **Down**(戻る) —— 手動での日時合わせやアラーム時刻を設定するときに使います。
- 8 **Up**(進む) ——
- 9 **アラームスイッチ** —— 設定時刻に鳴らすときはON、鳴らさないときはOFFにします。
- 10 **スヌーズ** —— アラーム音を一時停止します。また、表示部を照明します。

1 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

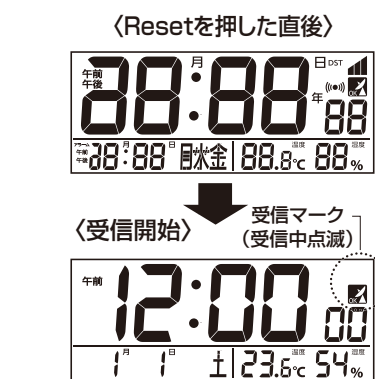
標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**(手動での時刻合わせ)**をお読みください。

- ◎電波を受信しやすい窓際などに置いてください。
- ◎電池を入れたときやResetを押すと「ピ」と鳴ります。
- ◎受信中はボタンに触れないでください。

1 電池を入れる

- 1 **楊枝などでResetを押す**
受信を開始します。
- 2 **20分待つて受信結果を確認する**
【受信の流れと表示】参照

【受信の流れと表示】



電源投入直後およびResetを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻午前6:00に設定されます。

受信マークの変化(電波サーチ機能)
電波の状態により変化します。



標準電波を受信できない場合へ

- 受信マークは受信成功後24~25時間点灯。
- 受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてResetを押して再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で日時を合わせて一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
ベランダや電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くようにして、Resetを押して受信を試みてください。

標準電波を受信できないときは、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
点滅している数値を**Up**または**Down**を押して合わせ、**Time Set**を押します。**Time Set**を押すと次のステップに進みます。

操作	押してすぐ離す	押し続ける
Up	1つ進む	早送り
Down	1つ戻る	早戻し

操作例. 2017年12月25日 午前10:37に合わせる

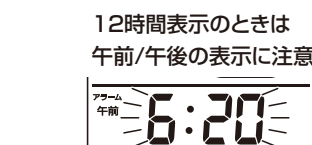
- 1 **設定を開始する**
西暦年が点滅するまで**Time Set**を約2秒間押し続ける。
- 2 **西暦年**
西暦年を**Up**または**Down**で合わせ、**Time Set**を押す。
- 3 **月**
月を**Up**または**Down**で合わせ、**Time Set**を押す。
- 4 **日**
日を**Up**または**Down**で合わせ、**Time Set**を押す。
- 5 **時**
時を**Up**または**Down**で合わせ、**Time Set**を押す。
- 6 **分(秒)**
分を**Up**または**Down**で合わせ、**Time Set**を押す。
秒は、時または分を合わせているときに、**Up**または**Down**を押すたびに「00」秒に設定されます。
以上で設定は終わりです。

- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波受信機能がONのときは、標準電波の受信に成功すると日時を自動修正します。

2 アラーム機能を使う

-1. アラーム時刻を合わせる

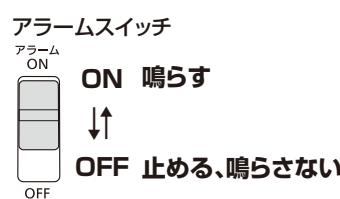
- 1 **アラームスイッチ**をOFFにする
- 2 **Up**または**Down**を押してすぐ離す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
- 3 **Up**または**Down**でアラーム時刻を合わせる
- 4 約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる



操作	押してすぐ離す	押し続ける
Up	1つ進む	早送り
Down	1つ戻る	早戻し

-2. アラームスイッチのON/OFF設定

- ON 設定時刻にアラームを鳴らす
アラームマークとアラーム時刻が表示される。
- OFF 止める、鳴らさない
アラームマークとアラーム時刻が消える。



アラームマーク



アラーム時刻

◎アラームオートストップ (自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。
アラームスイッチはONのままです。毎日アラームが鳴ります。アラームを使わないときは、**アラームスイッチ**をOFFにしてください。

◎スヌーズ機能 (止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに**スヌーズ**を押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目に**スヌーズ**を押すとアラームは停止し、アラームマークは点灯表示になります。

◎アラーム音の試聴

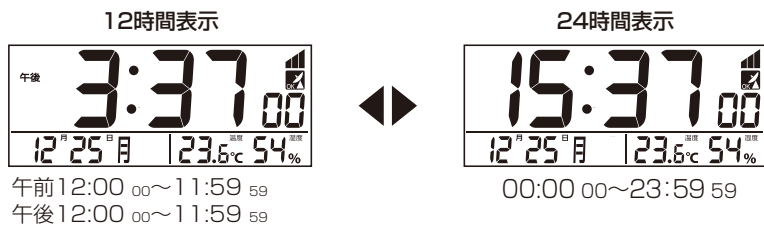
Monitorを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、**Monitor**を押してください。
電波の受信中、日時、アラーム時刻の設定中、アラーム状態のときは使えません。

表示部の照明

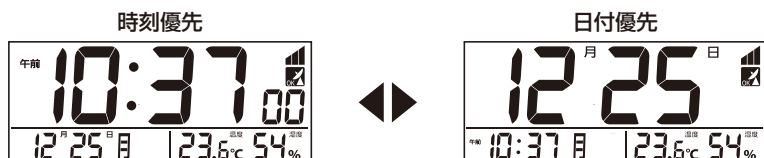
スヌーズを押すと約3秒間液晶表示面を照明します。照明をしたときは、時計上方より見てください。
※明るい所では、照明の効果は確認できません。

表示形式の切り替え

■ **12H/24H**を押すと時刻の表示が変わります。



■ **Time/Date**を押すと時刻と日付の表示位置が変わります。



次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。

- 電波の受信中
- アラームが鳴っている、スヌーズ状態
- アラーム時刻や日時を設定しているとき

温度・湿度表示

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の温度・湿度を反映しにくくなります。

- 次のような場所では使用しないでください。
屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中
- ※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所では違いがでます。また、設置する高さによっても温度・湿度が変わります。
- ※本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。
- ※厳密な温度・湿度管理や証明には使えません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度 「HH.H」 50℃より高温 「LLL」 -9.9℃より低温
湿度 「HH」 95%RHを超えている 「LL」 20%RH未満
「-」測定不能 (温度が5~50℃の範囲外)

※%RHは相対湿度を表しています。天気予報など一般的には「%」が使われています。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手動で日時を合わせる)

- Resetを約1秒間隔で3回押してください。
- 「ピ」と鳴ってから押してください。
- OFFになると「ピ」と鳴りません。
- 日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)

- Downを押しながら、Resetを押すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後にDownを離してください。
- 標準電波を定期的に受信して標準時に合わせます。
- ※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
- ※受信機能は、電池を抜いて回路内に電荷がなくなるとONになります。
- ※受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても受信に成功すると日時を修正します。

強制受信とリセット操作

Wave(強制受信)

場所を移動したときなどに、**Wave**を押すと受信を開始します。受信に失敗しても日時は継続して表示します。
次のようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手動で日時またはアラーム時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

Reset(リセット)

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。

静電気の影響について

静電気の影響により、表示の一部が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。
このようなときは**Reset**を押してください。